

平成20年流山市教育委員会議第11回定例会会議録

- 1 日 時 平成20年11月27日(木曜日)
開会 午後1時30分
閉会 午後2時45分
- 2 場 所 流山市役所4階委員会室
- 3 出席委員 委 員 長 奥田 富子
委員長職務代理者 松浦 尚二
委 員 奈良 文雄
教 育 長 鈴木 昭夫
- 4 傍聴者 なし
- 5 出席職員 学校教育部長 渡邊 哲也
学校教育部次長兼教育総務課長 高橋 茂男
学校教育課長 北口 倫也
指導課長 亀田 孝
生涯学習部長 石井 泰一
生涯学習部次長兼生涯学習課長 友金 肇
公民館長 直井 英樹
図書館長 松本 好夫
博物館長 川根 正教
- 6 事務局職員 教育総務課庶務係長 矢口 雅章
教育総務課庶務係副主査 新倉 英之
- 7 議案等
議案第58号 平成20年度教育費補正予算案について
議案第59号 流山市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
議案第60号 流山市北部公民館の指定管理者の指定の原案について
議案第61号 流山市東部公民館の指定管理者の指定の原案について

8 議事の内容

(開会 午後1時30分)

委員長

それでは、ただいまから平成20年流山市教育委員会議第11回定例会を開会いたします。 前回の第10回定例会の会議録をお配りしておりますけれども、それについて御意見、御指摘はございませんでしょうか。

(特になし との声あり)

委員長

それでは異議なしということで承認ということにいたします。
はじめに、教育長先生の報告をお願いいたします。

教育長

今回もまた1か月の間に大きな事件がありまして、若い人たちに対して非常に大きな影響があったのではないかと考えております。とにかく世の中に衝撃的な事件が大変多いと思います。自由で多様な報道の中で、人の心の方が鈍くなっているような感がいたします。よって、教育委員会の仕事は、やはり大きいのだと思います。全体的に世の中の動きは、できるだけ効率良くという方向に走っているわけで、それはある程度分かるのですが、老若男女すべてに関わる生涯学習部の仕事と学校教育部の仕事は、できる限り痛みのようなものを共感させられ、すべて躍動して、皆がすべて公平に恩恵を受けるという方向でやっているところです。痛みが共感できるような心を育てられるかどうかということ、それに迫る活動ができたかどうか、普段の活動を振り返る場合に大切なポイントになってくるのではないかと考えております。

さて、この2学期は、特に10月から11月にかけて学校で学習研究会がありました。その間、教育委員の皆様方にもたびたび現場を見ていただきまして、ありがとうございました。御覧のとおりだと思いますが、これまでに話を聞きますと流山のそれぞれの学校は、自校の実践ではあるのですが、内外に対して現代の課題の提案ができたと考えております。

このまま終わりたくないと思いますので、次につながる課題の取組に着手しなければならないと思います。私ども行政も次の課題をしっかりと押さえて「終わってよかった。」ではなくて、何がどう良かったのか、そういった面で課題をしっかりと押さえることがこの11月下旬から12月にかけて頑張らなければならない点だと思っています。

各学校を見て、いい実践があった学校というのは、共通していることがいく

つかあります。そのひとつは結束力です。学校の子ども同士、仲が良いとか、教員と子どもの関係が良いとか、教員と保護者の関係が良いとか、保護者同士の関係が良いとか、そういう中にちょっとした表情を含めて、結束力があると感じるのがやはりいいと思います。

できれば子どもも先生も鍛えられるということにおいて、喜びがあるような結束力になってくれれば更にいいと思います。我々がしっかりと押さえておいて、各学校を回らせていただいたときに、その辺を示せるといいのではないかと思います。それから実践している人が、周りが何々してくれているのでできたとか、してくれていないからできないということではなく、そこで工夫した取組に喜びを持って創りだしているという、そういう取組もあります。特に先日、ある小学校であった取組も今までにない違った取組なのですが、やはりそういった工夫があったというふうに思います。それから地域の好意をいつの間にか勝ち取っていると思いました。そういう事がいい学校の共通する点だというように思いました。教育委員の皆様からも意見を伺わせていただけることがありましたらお願いしたいと思います。

次に、学力状況調査の件ですが、これについてはすでに9月の初めの段階でお話ししておりますが、私どもも分析を急ぎました。各学校でも取り組んでいたところですが、これらについては、数字の発表をはじめ、世の中に様々な動きが出るのかなあといいながら関心を持っていたのですが、多少落ち着いてきたという一面と、やはりいろいろな教育紙を見ますと、現場は賛否両論で、特にマイナス点が強調されているようなものが多々見受けられますが、できるだけ前向きに捉えていくのが良いのではないかと考えております。国語、算数とも、しかも小学校・中学校とも、基礎それから応用力の両方の点で、本市の場合には今年度は全国・県平均を上回っている状況になりました。去年は中学校の数学で、一つ下だった部分があったのですが、今回は全部プラスということで、昨年度より向上がみられました。向上したものの分析は、学校を回って聞きますと、学校ではこういうことをやったということは言えるのですが、やはり広くいろいろな方との協働で取り組んでいるということについて、我々が認識していく必要があると思うのです。そういった面で申し上げますと、今年は学校の取組で良かったのは、適切な研究授業とか公開授業などが行われている。回数が多い少ないがあるし、そういうものをやっても人が関心を持って数多く集まる場所もあれば集まらない場所もあります。特に保護者です。そういった面での差は多少あるものの、適切に研究授業が行われている学校が良いということは、調査等から見て明らかです。

それから、今、子どもたちがなかなか家庭学習をやらないとか家庭と学校との連動というのでしょうか、そういった面を取り沙汰されていることなのですが、そこで学校がドリル学習などをして、その繰り返しとして家庭に持ち帰っての学習ということで、家庭の協力を得ながらやっているというものもありますが、習熟度別学習とかドリル学習は確かに大切ではありますが、主ではありません。できれば将来の学びに繋がって行くような活用力、思考力のようなものを上手につけていくということが本当の学習につながっていく。その前にどうしても最低限の基礎、基本というものは苦しくてもやり遂げることも必要でしょう。片一方に偏らないように進めていくということで、先日の新川小学校の取組などは、思考力や活用力に迫る授業のあり方について行ったものです。習熟度別学習の典型をお見せしたのではなく、どちらかというところの間のような授業展開の方に学校が進むといいのではないかと考えております。

それから地域とか家庭とか各種団体等にいろいろお骨折りいただいている点が大変ありがたいことです。生活イコール学力につながるとするならば、やはりそういった家庭や団体や地域等において、安全、安らぎ、落ち着き、けじめ、そういった面でのお骨折りをいただいて感謝しておりますし、またこれからも作っていく必要があると思います。

そしてもう一つ、流山独自のサポート教員を配置することができたということも大変ありがたいと考えております。学校、地域、家庭そして行政が三位一体となって協働することによって学力が向上していくだらう、そういう結果が少しずつ出てきているのではないかと考えております。

次にその他として人事関係ですが、今、教育にますます求められるのは教育にあるものとしてふさわしい人材を採用する必要があるということです。また、管理職としても登用していく必要があるのですが、人が人を評価することはなかなか難しいことです。できる限りその人の持つ能力の中に人柄とか実践というものを大切にして、県に内申を上げていきたいと考えております。

それから、後ほどお話があると思いますが、12月に行う子どもに係る活動として是非関心を持っていただきたいと考えておりますのは、12月6日の第3回の音読朗読の会です。また、12月2日には山形県の朝日町が「りんご交流」ということで、これは今年3年目になるのですが、2日の午前中に江戸川台小学校、西初石小学校に町長さんが出荷組合の皆様とともに来てくださるということですので、お知らせ申し上げたいと思います。以上です。

委員長

ただいまの御報告に対しまして、質疑、御意見等がございましたらお願いい

たします。学習研修の件とか、学力調査の件などいろいろ出ましたが、いかがでしょうか。

委員長

11月21日には私も新川小学校での授業劇場というタイトルで、体育館で開かれた算数の公開授業を拝見しました。やはり先生方が、授業を進めていく上での工夫を熱心にされているかが、子供たちの理解度を増していくことにつながると思います。私の知っている先生は、子どもたちがどんなことが分からないのだろうかということを知るには、自分が問題を単元で100個作れるかどうかということをおっしゃっていました。最初は100個作れなかったけれども、小さい単元の中でテスト問題を先生ご自身が頑張って100個作れた時に、初めて子どもたちが分からない部分というのが見えてきたという話を聞いたことがあります。何しろ新川小学校さんでも今回の取組に熱心にされていて、子どもたちの積極的な参加が見られて素晴らしかったと思います。一人の子どもが分かることと分からないことは、全員を一度に理解することはできないのですが、授業の中で人の分からないことが自分の分からないことと同じように結びついて知るきっかけになったり、内容が広がっていくとか、深い授業だなあと思いました。そういった内容が今後に活かされていくことを願いながら授業を拝見しておりました。素晴らしい試みだったと思いますので、これを続けていってほしいと思いました。ほかにございますか。

委員

前回の会議でもお話させていただきましたけれども、常盤松中学校の公開の授業で、日本の俳句を英語に直すということをやっておりました。グループ活動で4、5人の子どもたちで俳句を英語に直しているのですが、ニュアンスを英語にすることに非常に苦労していたところがあったと思いますが、チームティーチングの中で英語の先生と担任の先生のグループの中でアドバイスされながら、答えを教えるのではなくて、自分たちで考えさせる授業で、非常に良い授業だと思いました。会場が体育館ということで広がったのですが、県外からもたくさんの先生方がいらっやっていて大変だと思いましたが、子どもたちもまとまって授業をされているので、いい感触を得て見せていただきました。以上です。

委員長

ほかにございますか。

ほかにないようでしたら教育長先生の報告については終了といたします。

これより、議事に入りますが、議案第58号「平成20年度教育費補正予算

案について」、議案第60号「流山市北部公民館の指定管理者の指定の原案について」及び議案第61号「流山市東部公民館の指定管理者の指定の原案について」は、市長に対する意見の申出を必要とする事項でございます。また、報告第22号「臨時代理の報告について」は、個人に関する情報が含まれていません。よって、流山市教育委員会会議規則第13条第1項の規定により、非公開とし、本日の議事日程につきまして当該案件を同会議規則第10条第1項の規定により、各課等報告（5）の後に繰り下げたいと思いますが、御異議ありませんか。

（異議なし との声あり）

委員長

御異議なしと認めます。議案第58号、議案第60号及び議案第61号並びに報告第22号につきましては、非公開とし、各課等報告（5）の後に審議します。それでは、議事に入ります。

議案第59号「流山市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について」を議題とします。提案理由の説明を求めます。

学校教育部長

（説明）

委員長

本案について質疑等ありましたらお願いします。

（特になし との声あり）

委員長

質問がないようですので、議案第59号は、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（異議なし との声あり）

委員長

御異議なしと認めます。よって議案第59号は、原案のとおり可決することに決しました。

次に、各課等報告を指導課からお願いします。

指導課長

ア 市内小中学校音楽発表会について
イ 市内図画・習字・読書感想文作品展について

ウ 平成20年度流山市小学校ミニバスケットボール大会結果

委員長

次に生涯学習課からお願いします。

生涯学習課長

ア 主催事業について

(次の4点について報告)

(ア) 第247回サロンコンサート

(イ) 市美術家協会会員展 I

(ウ) 豚汁ジョギング

(エ) 年忘れニューススポーツのつどい

イ 後援事業について

(次の3点について報告)

(ア) 東京理科大学吹奏楽部第27回定期演奏会

(イ) 2008/09V・チャレンジリーグ女子流山大会

(ウ) 写真家 木村恵一先生と「講演とスライド上演」

委員長

次に公民館からお願いします。

公民館長

これからの事業

(次の6点について報告)

ア 心理学講座～家族のためのカウンセリング～

イ 炭焼き体験・流高炭塾

ウ 大学開放講座「裁判員制度を先取りする模擬裁判」

エ 子育てサロンコンサートⅡ

オ 高校開放講座「現代の農業 私の提言」

カ 子育てお母さん再就職出張セミナー（商工課との共催事業）

委員長

次に、図書館からお願いします。

図書館長

ア 主催事業について

(次の2点について報告)

(ア) 人形劇のつどい

(イ) 赤ちゃんと楽しむ絵本の紹介

イ 後援事業について

(次の2点について報告)

(ア) 言葉と心を声にのせて～第3回音読・朗読発表会～

(イ) クリスマスおはなし会スペシャル

委員長

次に、博物館からお願いします。

博物館長

主催事業について

(次の3点について報告)

ア 平成20年度企画展「ちょっと昔の暮らし」実施報告について

イ ふるさと入門講座「考古学コース」の実施報告について

ウ 博物館子ども教室「勾玉づくり」の実施報告について

委員長

以上の各課等報告への質疑、意見等がありましたらお願いします。

委員

歯科医師会からでございますが、前回、後援をしていただくことになりました。11月30日に料理及びシャンソン歌手の平野レミさんを迎えて午後2時から文化会館にて市民公開講座を行いますので、是非足を運んでいただいて鑑賞していただければと思っております。

委員長

公民館さんの6番目の子育てお母さんの再就職出張セミナーというものがありますが、この中で保育を担当される方は公民館さんでいつも関わってくださっている方々ですか。

公民館長

子育てサロン部をやっているらっしゃる保育ボランティアグループのひだまりというグループの皆さんです。

委員長

その皆さんが担当してくださるということですね。

公民館長

はいそのとおりです。

委員

今の公民館事業の再就職セミナーということですが、先日の新聞ですが、子どもへの暴力が5年間で2.4倍になっているという記事がございました。虐待が主なのですが、やはりお母さん方がこういう時代になって余裕がないのかなあということ、それからもう一つは頑張らなきゃという気持ちが強いのかも

知れませんが、やはり就職するに当たっては、ただ働くだけ、金銭的な問題や時間の問題だけではなくて、子育てをしながらの就職ということで、もう少しアドバイスをさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

公民館長

はい分かりました。

委員長

そのほか、何かございますか。

特にないようですので、各課等報告についての質疑を終了します。

続きまして、先ほど非公開と決定しました議案第58号、議案第60号、及び議案第61号並びに報告第22号の議事に入ります。

(傍聴人がいないため、退席者なしで審議開始)

議案第58号「平成20年度教育費補正予算案について」

教育総務課長及び生涯学習課長の説明後、審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第60号「流山市北部公民館の指定管理者の指定の原案について」

生涯学習部長の説明後、審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第61号「流山市東部公民館の指定管理者の指定の原案について」

生涯学習部長の説明後、審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

報告第22号「臨時代理の報告について」

指導課長の説明後、審議に入り、全員異議なく原案どおり了承された。

(非公開案件終了)

委員長

以上をもって本日の教育委員会議に付議された案件の審議は、終了いたしました。その他協議する事項がありましたらお願いします。

委員

今日の新聞に出ていたのですが、医学的な点なのですからけれども、またインフルエンザが流行る時期を迎えてきていると思います。12月1日付けで、保険料を滞納している世帯家族の子ども救済ということでしょうか。児童及び小中学生の救済ということで保険証を出していただけたということがございました。非常に子どもたちに関わることでありがたいと思っております。病

気をしていても保険証がないために、ただでさえ保険料が払えないのに10割負担しなければいけないというきつい問題が一つクリアできて、また就学前の子どもについては200円で診療を受けられるということは本当にありがたいなあと思っております。お礼かたがた教育関係にも携わることでですのでよろしくお願ひしたいということです。以上です。

委員長

その他協議することなどございましたらお願いいたします。

教育総務課長

次回の教育委員会議でございますが、12月25日(木)午後3時というところでいかがでしょうか。

(次回の日程協議)

委員長

次回の教育委員会議は、12月25日(木)午後3時から開催することといたします。以上で、平成20年流山市教育委員会議第11回定例会を終了します。

(閉会 午後2時45分)